



益田清風高等学校創立100周年記念事業について

謹啓 時下、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、県立益田清風高等学校は、大正13年（1924年）に益田農林学校として開校以来、昭和23年（1948年）に益田高等学校に改称、昭和49年（1974年）には益田南高等学校が開校、さらに平成17年（2005年）に益田高等学校と益田南高等学校が統合され、現在に至っております。この間卒業生は2万8千人を超え、多くの人材を輩出してまいりました。幾たびの変遷をたどり、発展してきた益田清風高等学校が、令和6年（2024年）に記念すべき創立100周年の大きな節目を迎えます。

この歴史ある下呂市唯一の県立高校が創立100周年を迎える今、私たち同窓会は愛着の念を込めて、さらに素晴らしい学舎になるよう教育環境を充実すべきと考え検討を重ねてまいりました。こうした思いをもって、記念式典、校門周辺の整備、記念誌発行を柱とする記念事業を計画いたしております。

つきましては、100年という記念すべきこの機に、今後とも地域から一層親しまれ信頼され、私たちが誇れる益田清風高等学校となるよう期待を込めて、同窓生はもとより関係方面の方々に広く応援して頂きたく存じます。時節柄誠に心苦しくは存じますが、皆様方の創立100周年記念事業に対する御賛同と熱い御支援、御協力を賜りたくお願い申し上げます。

謹白

岐阜県立益田清風高等学校

創立100周年記念事業実行委員会

委員長 小林 正和